

本検討会における論点整理

○国内希少種の生息地・生育地保全の在り方について

- ・種の特性等を踏まえた生息地・生育地の保全を進める上で、現行制度又は運用上の課題は何か。
- ・希少種保全の観点から、土地所有者や事業者へ求めるべきことは何か。

○国内希少種の指定について

- ・「2030 年までに 700 種を指定」という目標と、種の保存を実効的に進めていく観点から、今後の種指定はどうあるべきか。

○保護増殖事業について

- ・国は今後どのような種を対象として保護増殖事業を実施していくのか。
- ・保護増殖事業のより一層の推進を図る観点から、国以外の多様な主体による保護増殖事業への参画を促進するために、保護増殖事業にかかる制度や取組はどうあるべきか。

○都道府県との連携や役割分担について

- ・地域の状況に応じた希少種保全をより効果的に進める観点から、国と地方自治体はどのように連携及び役割分担すべきか。

○認定希少種保全動植物園等制度について

- ・希少種の生息域外保全を更に推進する観点から、認定に伴うメリットの拡大や手続き面におけるデメリットの改善などについて、どのように進めるべきか。

○希少種の流通管理について

- ・国際希少野生動植物種について、種の保存の観点から国内の流通の徹底をどのように図っていくべきか。一方で、流通等の実態を踏まえて、柔軟に対応すべき種があるか。
- ・希少野生動植物種の効果的な保全を図っていくうえで、真に必要な手続きを求めていくことが重要である観点から、種の保存に向けた個体等の管理の在り方はどうあるべきか。